

新しい生活が始まる節目に人権を意識する

4月は新しい生活が始まる季節、入学・入社等、新しい環境で緊張する場面も多くなります。新しい人に出会う機会が多いからこそ、人権意識が大切になります。迎え入れる先生方や上司の方は特に人権意識が必要です。環境に慣れていない新入学生、新入社員の状況を想像して思いやる気持ちが、お互いの信頼にもつながっていきます。このような節目に人権を意識することで、人権感覚も養われていきます。新しい出会いも人権意識があれば素晴らしいものになるはずです。



子どもへの新型コロナワクチン接種について考える

子どもへの接種は慎重に検討しましょう

国の方針に基づき本県でも、小児(5歳から11歳まで)への新型コロナワクチン接種が今年3月から始まっています。県内の多くの市町村では、この年齢層のお子さんへの接種について、メリットとデメリットをよく検討したうえで判断することを勧めています。

例えば、山梨市のホームページ(5～11歳の子どもの接種について)では、「接種を受けることは強制ではありません。感染症予防等の効果と副反応のリスクの双方について、正しい知識を持っていただいた上で、ご本人及び保護者の方の意思に基づいて接種をご判断いただきますようお願いいたします」等と記しています。

また、甲府市では、それと併せて「幼稚園・学校や周りの方などに接種を強制したり、接種を受けていない人に差別的な扱いをすることのないようお願いいたします」と念を押しています。また、厚生労働省や日本小児科学会では、慢性呼吸器疾患、先天性心疾患など、重症化リスクの高い基礎疾患を有する子どもへの接種を特に推奨しています。なお、接種にあたっては、あらかじめ「かかりつけ医」などとよく相談することを勧めています。

コロナ感染とワクチン接種後で、年代別の重症者数と死亡者数を比較すると

それでは、健康なお子さんへのワクチン接種について、どう考えたらよいのでしょうか?厚生労働省のホームページ(「新型コロナウイルス感染症の国内発生動向」や「予防接種法に基づく医療機関からの副反応疑い報告」等)を調べてみると、10代の年齢層では、コロナ感染で重症化ないし死亡した人数よりも、ワクチン接種後にそうなった疑いのある人数の方が多くなります。(右図参照→厚労省公表データを用いて筆者が作成したもの)

また、ウイルスの新たな変異株が次々と現れている影響もあり、ワクチン接種による感染予防効果(含・他者への感染防止効果)も次第に低下傾向にあります。これらを踏まえると、健康なお子さんへの新型コロナワクチン接種には慎重にならざるを得ないと筆者は考えます。ちなみに、我が国の大半のマスコミは、新型コロナワクチン接種による深刻な副反応の事例については、ほとんど紹介していません。

そうした中、名古屋市に本拠をおくテレビ局(CBC(中部日本放送))では、大石邦彦アナが担当する番組で積極的にこの問題を探りあげており、参考になります。(※ネットで「CBC 大石」と検索すると、幾つかの動画をみることができます。)

また、4月29日(祝日)午後1時半～3時半に笛吹市スコレーセンター(石和町広瀬626-1)・集会室で「ワクチン後遺症」についての学習会(映画会等)が開催予定です。右記のサイトから参加申込ができます。

	コロナ感染		ワクチン接種後	
	重症者数	死亡者数	重症報告者数	死亡報告者数
10代	11	4	398	6
20代	72	30	721	26
30代	201	96	758	28
40代	1,621	315	929	49
50代	3,514	886	739	77
60代	4,985	1,719	629	93
70代	6,975	4,588	904	266
80代以上	4,048	12,088	1,370	620
合計	21,427	19,726	6,448	1,165

※コロナ感染の重症・死亡者数は今年2月20日時点。
ワクチン接種後の重症・死亡報告者数は今年2月28日時点。(いずれも、厚生労働省発表データによる)

<記録映像>
ワクチン後遺症等上映会



人権移動教室の授業を受けた子供たちの感想文が、裏面にご覧いただけます。



国連 NGO 横浜国際人権センター山梨ランチ
特定非営利活動法人横浜国際人権センター山梨

会長：横山隆史

〒400-0031 山梨県甲府市上町601-4 甲府市環境センター内 なでしこ工房 1階事務室
TEL. 055-243-8563 FAX. 055-243-8564 <http://yamanashi.yihrc.or.jp/> E-mail. yamanashi@yihrc.or.jp

協賛企業：(株)成心設備、西関東開発(株)、(株)ウィルマート、(株)R&C、(株)フジコー、(株)渡辺工業所、甲府市管工事協同組合

<協賛>
山梨県
甲府市
甲斐市

人権移動教室に参加した子どもたちの感想文をご紹介します。

甲斐市立玉幡小学校 (六年生女子)

今日、人権についての話を聞いて、顔や考え方とちがうのはあたりまえということも学びました。世界中の人がねがっていること「死にたくない」「しあわせになりたい」ということはむずかしいなと思いました。自分の命と自分のしあわせを大切にしてください。私も生活していきたいなと思いました。「人を大切にすること」ためにはどりよくすることが大切とはじめて知りました。大切な言葉を聞いていても、さいにやらないと意味がないと思いました。

MSFはあらゆる人をきくべつせずたすけたり基本的な人権と民主主義を守るという仕事なんだなと思いました。二つのやくそくを守ればしあわせになれると言っていたのでそれを守ってみたいと思いました。「人権さんち」うちは人を大切にしようという意味かこめられるんだなと感じました。最後に杉藤先生が自分を知るとのこととはとても大切と言っていたのでこれから自分のことをもっと知ってみたいと思いました。

甲斐市立玉幡小学校 (六年生女子)

「人権」そう聞くと意味は分からないし、むずかしく考えてしまうのが今までの自分でした。まず、最初に教えてもらったのが「人権」の意味です。命と幸せを守るためのけんりという事です。自分が幸せになるためには人を大切にすること、それを国境なき医師団のみなさんは行っていてすごいと思いました。自分のことはあとまわしで人の命や苦しんでいる人を助けることをゆう先し、命がけのボランティアをする。また、天災や人災、戦争などのあらゆる災害に苦しむ人々を助ける仕事はとてもやりがいはあると思うけど大変な仕事だな。と感じました。私も苦しんでいる人を少しでも助けてみたいと思ったのでまずはお金など小さなことから協力したいです。生きている中でどれだけ成長できるか。そして一番むずかしい自分を知ること。今日学んだことを通してこれからの未来に続けていきたいです。